

# 再編と車両の 入れ替えの再検討を



浅見 武志



町長

関係者の意見を聴き  
再編を進める

**質問** 消防団の再編に当たり、令和4年度は上陽分団（9分団と10分団の統合）詰所の建て替えを行うとともに、車両の更新として10分団ポンプ車は上陽分団で使用、9分団ポンプ車は2分団へ配備し、上陽分団に新たに軽可搬式消防ポンプ自動車を購入する。

令和5年度は、南分団（3分団と4分団の統合）詰所を社会体育館敷地内に建設し、4分団ポンプ車は南分団で使用する。3分団ポンプ車は20年経過しているため廃車し、新たに軽可搬式消防ポンプ自動車の購入を予定している。

その後、玉村分団、中央分団、芝根分団の再編を行い、同様に詰所の建て替え、軽可搬式消防ポンプ自動車の購入を予定している。

現在、火災件数は減少傾向にあり、将来的に分団員の数も減少が見込まれる中で、軽可搬式消防ポンプ自動車は本当に



役場分団「軽可搬式消防ポンプ自動車」

必要なのか。どのように検討されてきたのか。

**答弁** 町長 検討に当たっては、消防団や区長会の代表、消防署、防災士等で構成された「玉村町消防団再編実施計画策定検討委員会」での議論を踏まえて「玉村町消防団再編実施計画」を策定した。本計画の基本方針を策定する過程において、町内で同時に2か所の火災が発生した際には、分団のポンプ車が10台必要との結論に至った。

**質問** 消防団は、水防団も兼ねている。自然災害に備えるため、土のうや濡れたホース等が積める軽トラックが最適ではないか。

**答弁** 町長 新たに配備する消防ポンプ車に積載される小型動力ポンプは、積下ろしができるため、水害時には小型動力ポンプに変えて、土のうなどを積載することも可能である。

**質問** 詰所の建て替えや車両の入替えにたくさんのお金がかかる。再度消防団と検討する必要があるのではないか。

**答弁** 町長 計画を見直す予定等はないが、消防団を含め関係者からの意見を十分踏まえながら、再編を進めていきたい。

こんな質問もしています  
・たまむら花火大会について

# 学校教材等の リユースを



堀越 真由子



教育長

問題を整理して  
研究していきたい

**質問** 小中学校への入学時には、まとまった資金が必要となるため、家庭への支援とともに、SDGsへの取組や「お古」としてではなく、「物を大切に教育」の一環として使わなくなった制服や算数セットなどの教材、部活動用具、自転車等の寄附を募り、リユースすることはできないか。

**答弁** 教育長 制服のリユースについては、就学援助対象家庭に周知し、多くの家庭に利用されている。また、学用品等のリユースについては、今後、物品管理の方法等の問題を整理し、解決策を研究していきたい。

**質問** ランドセルは重く、購入価格が平均5万円を超えるなど経済的負担も大きい。通学用に関連された軽くて安価なリュックとランドセルを選択制にできないか。

**答弁** 学校教育課長 ランドセルでなければならぬ



教材の重さは15年で約2倍  
身体的負担も懸念・・・

いと決めていない。使いやすいことや安全性等を考慮して選択していただきたい。

## 子供のマスク着用について

**質問** 夏の子供のマスク着用は、熱中症のリスクが高まるだけでなく、同じマスクを長時間着けたり触ったりしてしまうことで、かえって感染リスクが高まるというデータもある。マスクの着用に関して、町はどのように考えているか。

**答弁** 町長 これからの夏場は熱中症のリスクも高まることから、感染症対策と併せて、安心安全なマスクの着用

に努めていきたい。

**質問** 継続的なマスクの着用は、虫歯や長期的には歯並びへの影響、内臓疾患を引き起こすことも考えられる。吐き出した二酸化炭素を再吸入することで低酸素症になり、免疫の低下や脳の発達障害が起きる可能性があるという研究データも発表されている。マスク着用のリスクについて、町はどのように考えているか。

**答弁** 子ども育成課長 様々なリスクが想定されるが、保育所ではマスク着用を希望する保護者もいる。意に反して着用をお願いはしていない。今後も子供や保護者の希望に沿った対応をしていきたい。

こんな質問もしています  
・住民の居場所や子ども食堂の開催場所について  
・コロナウイルスワクチンと子宮頸がんワクチンについて